

令和4年度 学校だより

# は が き た

学校づくりアンケート号

令和5年3月

## 教 育 目 標

『 学ぶ子 守る子 がんばる子 』

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。

### 「学校づくりアンケート」～保護者の方々からのご意見紹介及び更によくするための改善策～

| 御 意 見  | 回 答   |
|--|---|
| <p><b>確かな学力</b><br/>○ 授業が分かりにくい。<br/>うちの子に合った対応をしてほしい。</p> <p>○ 宿題が少ない。<br/>○ 宿題が多い。</p> | <p>学習のめあてを明確にしてから授業を開始し、授業の最後には振り返りを行います。めあてが達成できたかどうかを教師も児童も評価します。学び合い学習をすすめ、もっと分かりやすい授業になるよう努力していきます。<br/>担任と学習指導助手がチームティーチングを行い、個に応じた指導ができるよう努めます。また、高学年では、今年度同様教科担任制を取り入れていきます。</p> <p>芳賀町では、芳賀町小中学校の「家庭学習のすすめ」を作成しています。毎年配付していますので、ぜひ目立つところに貼って確認してください。家庭学習の進め方や目安時間も載っています。例えば「小学校5・6年生は宿題と自主学習で50～60分を目安に学習しましょう。」などです。お子さまの様子を見ていただき、宿題の量について心配がある場合は、担任に相談してみてください。毎日学習する習慣が身に付くよう、学校と家庭が連携し、たくさん褒めて励ましていきましょう。</p> |
| <p><b>豊かな心</b><br/>○ 道徳の授業についてよくわからない。</p>   | <p>道徳の時間を要として教育活動全体で行っています。<br/>学校では、道徳の授業を充実させ、道徳の授業で学んだことを学校生活に生かすことができるよう支援していきます。学年だより等で道徳の授業内容を伝えていきます。</p>  |
| <p><b>健康・安全</b><br/>○ 外での行事、活動での服装は子どもの判断でよいのでは。</p>                                     | <p>気温に合わせて衣服を脱ぎ着ができるように、学校と家庭とが連携していくことが大切だと考えます。学校では、体育の授業やランRUNタイムなどは体操着（半袖半ズボン・長袖長ズボン）を着て行うよう話しています。寒い時期は、防寒着を着ることもあります。天気予報を確認するなどして、衣服の調整についてお話をいただき、快適に過ごせるよう引き続き安全のための見守りをお願いします。</p>  |

○毎日元気に通うことができている。休み時間や体育の話をしてくれます。

体力作りだけでなく、外遊びも奨励しています。外に出て体を動かすことは、子ども達の健やかな成長に欠かせません。バランスのよい食事、運動、休養の大切さについて指導していきます。体育についての指導を充実させていきたいと思っています。

○何か気付いたことなど、連絡帳に書いてもらえると安心できる。

一人一人が安心して学校生活を送れるよう、児童の様子をよく見て対応していきたいと思っています。保護者の方とも連絡をとりあっていたいと考えています。学校からの連絡方法は連絡帳や電話がありますが、なるべく連絡帳で行うようにします。ホームページやお便りでの発信も引き続き行っていきます。

○いつもありがとうございます。一度20時過ぎに電話があり驚きました。先生方ががんばりすぎでは。

電話連絡については、あまり遅い時間にならないよう、学校でも気を付けていきたいと思っています。  
(※職員の勤務時間は8:00~16:30です。)  
令和5年度は、18時以降は電話をかけない、また電話に出ない、そして教員の帰宅時間を早めていきたいと考えています。御理解御協力をよろしくお願い致します。

### 地域とともにある学校

○体験活動はプラスになることが多いと思うので続けてもらいたい。

体験活動では今まで学んだことや普段感じることのできない発見、それに伴う感動を味わうことができます。コロナ禍でなかなか実施できませんでしたが、令和5年度は少しずつ再開できると思います。  
社会科見学や総合的な学習でのゲストティーチャーなど、学校以外の方と関わることで、心が育つと言われています。  
地域の行事やお祭りなどに、子どもがどんどん参加できるようにするとよいと思います。

### その他のご意見

鉛筆の持ち方、勉強や食事の姿勢が悪い。小学校に入ってから悪くなったように思う。家でも注意をしているが、学校でもこまめに指導してもらいたい。

日々楽しさを探しながら登校しています。苦手なことも先生、仲間のおかげで逃げずに取り組んでいます。引き続きお願いします。

※たくさんの御意見ありがとうございました。今後も学校と家庭・地域がそれぞれの教育力を生かして子どもたちを育てていきましょう。